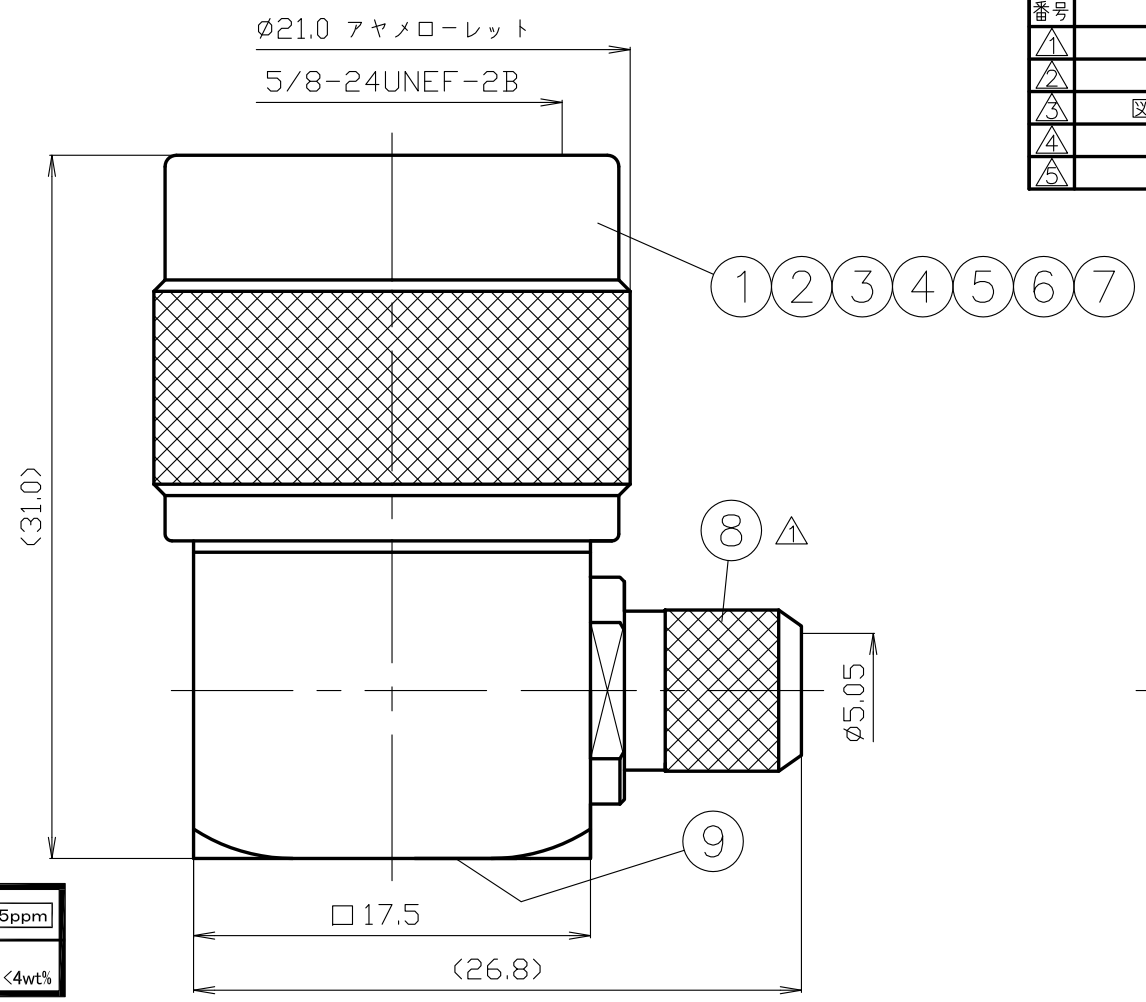


番号	変更・記事	日付	確認
△	横棒 変更	2003.01.16	済
△	社名変更	2012.01.05	済
③	図面外観化、RoHS表記追記	2017.01.30	山本
△			
△			



RoHS Compliant Cd ≤ 75ppm

REMARKS BRASS: Cd ≤ 75ppm  
PHOSPHOR BRONZE: Pb < 4wt%

10	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni	
9	裏ブタ	黄銅	1	Ni	
8	横棒	黄銅	1	Ni	
7	ブッシング	黄銅	1	Ni	
6	保持リング	リン青銅	1	Ni	
5	絶縁体	テフロン	1	--	
4	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
3	シェル	黄銅	1	Ni	
2	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
1	接続ナット	黄銅	1	Ni	
番号	部品名	材質	数量	処理	備考

尺 寸	3 / 1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名 N-LP-5WA
単 位	mm	渡邊 '17.01.30 直弘	檜 '17.01.30 澤	山 '17.01.30 本	三 '17.01.30 村	
日 付	2001.03.21	投 影 法		株式会社 トーコネ TO-CONN CO., LTD.		図 番 S-0511428

# 仕 様 書

品 名 N-LP-5WA  
 図 番 S-0511428  
 定 格 1 参考規格 JIS C 5411  
 2 定格電圧 AC 500V  
 3 定格周波数 3GHz  
 4 公称インピーダンス 50Ω

No. 0512221



	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 : S-0511428)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下
	特 性		
7	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常がなく結合すること
8	ケーブル接続強度	軸方向引張力 196N以上	異常のないこと
9	結合部接続強度	軸方向引張力 294Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
	特 性		

	変更履歴	日付
1		
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
三 20.07.06 村	山 20.07.06 本	檜 20.07.06 澤	渡邊 '20.07.06 直弘

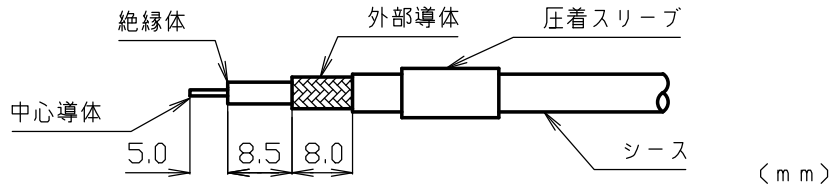
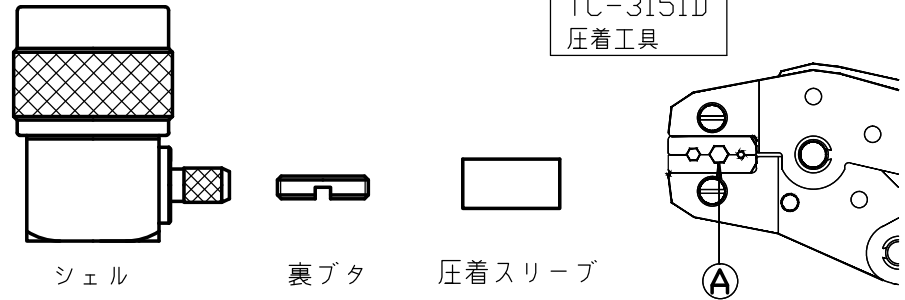
# N-LP-5WA 取付仕様書

図番 S-0511428



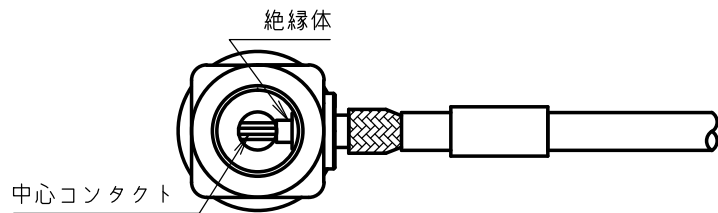
作成	確認
山 '12.01.05 口	山 '12.01.05 本

## 部品構成

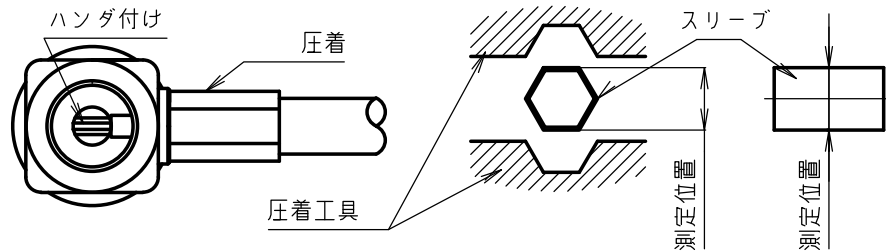


番号	変更・記事	日付
▲	社名変更	2012.01.05

1 同軸ケーブルへ圧着リングを通しシース、絶縁体、外部導体を  
図中の寸法で切り取る。外部導体は、後にシェルを取り付けやすくするため  
外側に広げておく。

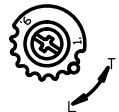


2 シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に入るように装着する。  
この時中心導体が中心コンタクトの溝に収まるよう挿入し、絶縁体が  
中心コンタクトに当たるところまで入れる。

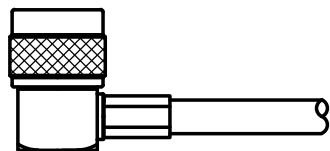


3 中心コンタクトと中心導体に対してハンダ付けを行う。  
注意 ハンダが中心コンタクトよりもり上らない様につけること。  
絶縁体が溶けないようにハンダ付けを行うこと。  
装着後、同軸を引張り抜けないか確認すること。  
圧着スリーブをスライドさせ外部導体にかぶせて圧着工具の  
A部(TC-3151D)で圧着して作業を完了する。  
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプ  
ハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

強度調節ダイヤル



測定位置でのクリンプハイト8.50~8.58mm



4 裏ブタを取り付け作業を終了する。